

## &lt;調査記録&gt;登山道現況調査

文責：上村 聡

調査年月日：2020年（令和2年）9月22日（火祝）～9月23日（水）

調査区間

- ・1日目：滝ノ上温泉烏帽子岳登山口～白沼～烏帽子岳～田代平～蟹場分岐～鶴の湯分岐～小白森山～大白森～大白森山荘
- ・2日目：大白森山荘～大沢森～曲崎山～八瀬森～関東森～八瀬森分岐～小畚山～ニセ小畚山～三ツ石山～三ツ石山荘～奥産道登山口分岐～滝ノ上温泉三ツ石山登山口

## 1. 調査目的

- ①県境登山道の状況確認（刈払いの実施有無、構造物など）
- ②大白森の展望魅力の確認

## 2. 調査結果

- ①総括：1日目は晴天だったが、2日目の正午からは確認していた予報と異なり、大雨が降りしきり中の山行となった。  
今回の展望確認の目的地であった大白森の高層湿原は、幸いにも1日目であったためその景色を堪能することができた。

- ②登山道の状況：滝ノ上温泉登山口から烏帽子岳までの登山道、八瀬森分岐から三ツ石經由の滝ノ上温泉三ツ石山登山口までの登山道はきちんと整備されている。

田代平から蟹場分岐までは登山道が見えるが、若干草や笹が伸び放題の箇所もあった。蟹場分岐付近もこの調査の数日前に刈払いされたようで、青々とした刈られた笹が登山道を埋め尽くしている状況だった。

但し、この調査日の時点で鶴の湯分岐手前でまだ刈払いされていない箇所があり、登山道を藪漕ぎする箇所もあった。また蟹場分岐から小白森山辺りまでの登山道は大小の泥濘地帯がいくつもあり、かなり歩きづらい印象だった。

大白森から大白森山荘へ続く登山道も蟹場分岐付近同様、この調査の数日前に刈られたようでやや歩きにくかった。

大沢森から曲崎山辺りは昨年？それ以前？に刈払いされた様子。曲崎山から八瀬森、関東森、1283m湿原へ続く登山道は登山道を塞ぐほどの大きな倒木が数十か所あり。またこの登山道の刈払いは、途中すれ違った登山者の方のお話して、今回の調査の1～2週間前に誰かが草刈りをしていたというネットの情報を見たとのことだった。

1283m湿原から八瀬森分岐の尾根はだいぶ前に刈払いされていたが、一部未了の箇所もあった。

刈払いされたばかりの青笹で埋まった登山道、刈払いされていない箇所での藪漕ぎ、泥濘地帯、倒木などなど全体的にはややハードな障害物が多い印象だが、刈払いはほぼされていたので来年以降は今回より良くなるであろうという感じである。

\*八瀬森分岐以降の三ツ石山に向けてはガス、雨のため紅葉を愛でることはできなかった。登山道間近の状況を見ても、例年よりも紅葉の進み具合がかなり遅れていると思われた。

## 3. 大白森の印象：私は今回大白森（その先の八瀬森分岐までの登山道も）は初めての経験だった。

千沼ヶ原ともまた異なった高層湿原。岩手山、裏岩手縦走路、秋田駒ヶ岳など展望も格別で、やや傾斜のある湿原の地平線は大変素晴らしかった。この湿原で約30分、広野さんはスケッチを私は写真撮影を堪能しその空間をまさに独り（二人）占めできた。来年以降は初夏など高山植物に恵まれるであろう季節にも再訪してみたいと思い、またもっと多くの方にも大白森とこの縦走路の深淵を訪れてほしいと感じた。

## 4. 参考

- ①今回の行程 1日目：約15.2km 所要時間：約9時間30分（滝ノ上温泉烏帽子岳登山口～大白森山荘）  
2日目：約22.4km 所要時間：約11時間50分（大白森山荘～滝ノ上温泉三ツ石山登山口）

2日間合計：約37.6km 所要時間：約21時間20分（山行中の休憩含む。大白森山荘での小屋泊の休憩は含まず。）

- ②踏査参加者 岩手山地区パークボランティア 広野 孝男  
岩手山地区パークボランティア 上村 聡



キンコウカ



モウセンゴケ



リンドウ



トリカブト



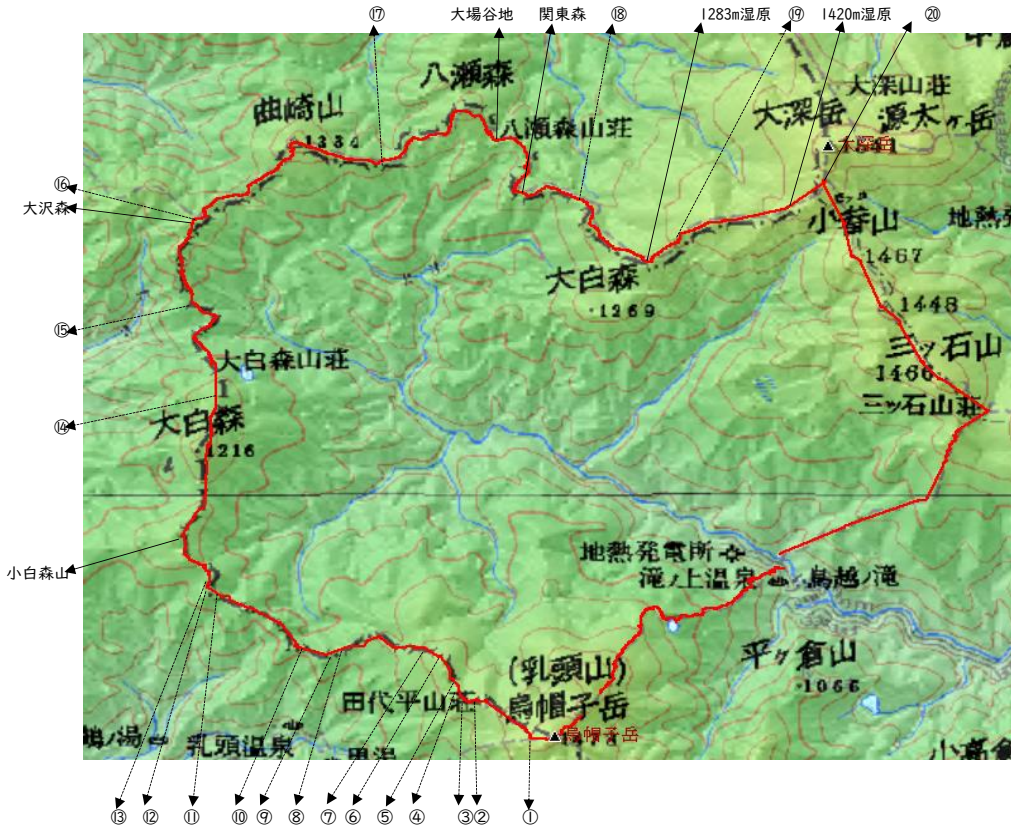
イワイチョウ



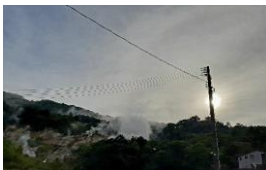
アズマヒキガエル

5. 調査記録写真 (P-1)

\*特記すべきと思われる写真のみ下記地図と合わせたナンバリング表記をした



<1日目記録写真>



滝ノ上温泉鳥帽子岳登山口前駐車場より



白沼



小乳頭手前木道



残雪期は大雪渓



鳥帽子岳山頂より岩手山を望む  
ここで昼食



① 黒湯分岐：誘導票問題無し



田代平山荘

調査記録写真 (P-2)



②田代平手前木道登山道  
やや笹が伸びているが歩行に支障無し



③田代平分岐



④田代平分岐より少し進んだ登山道  
若干草が伸び気味



⑤田代平湿原内木道



⑥標高約1230m付近登山道



⑦標高約1200m付近登山道

⑥、⑦地点いずれもかなりの高さまで笹が生い茂っていた



木段  
数ヵ所設置の木段は問題無し



木道



⑧蟹場分岐手前から泥濘地帯が続きます。特に主だった対策無し。



⑨-1 蟹場分岐



⑨-2 蟹場分岐



⑨-3 蟹場分岐より蟹場温泉方面



⑩-4 蟹場分岐より鶴の湯分岐方面



⑩標高約1030m付近  
本踏査数日前に刈払い作業が行われた模様



⑪-1 鶴の湯分岐まで約70m辺

⑪-1は鶴の湯分岐側から蟹場分岐方面の登山道を振り返ったところ  
⑩からの刈払いがここで終了。⑪-2からは鶴の湯分岐付近まで藪漕ぎ状態



⑪-2 鶴の湯分岐方面の登山道



⑫鶴の湯分岐 誘導標が若干傷んでいたが問題無し



⑬鶴の湯分岐から入ってすぐの登山道も大小の泥濘地帯が十数か所続く  
木の枝や枯れ葉などが敷いてあるような箇所もあるが平板などでの対策は無し



調査記録写真 (P-3)



小白森山山頂を過ぎた湿原入り口



小湿原より秋田駒ヶ岳を望む



ようやく大白森に到着



⑭ 大白森を抜けて大白森山荘方面への登山道  
この登山道も本踏査の数日前に刈払い作業が行われたと推測される



大白森山荘入口への木道  
非常に滑りやすいので要注意



大白森山荘にて1泊  
小屋内は綺麗に使用されていたが  
トイレはやや覚悟が必要・・・



今回は我々の貸切でした

<2日目記録写真>



⑮ 標高約970m 大白森山荘を出発して約30分の箇所にある林道との分岐点



大沢森山頂 展望無し



⑯-1 大沢森からの登山道  
この数日で刈払いされた模様



⑯-2 ⑯-1から5分程進んだ箇所からは  
恐らく昨年かそれ以前に刈払いされたと思われる



曲崎山山頂手前からの展望



曲崎山山頂 展望無し



曲崎山より約10分程下ると突然眼前が開ける  
裏岩手縦走路方面の展望よし  
葛根田川の源流となる沢が集まっているのも確認



調査記録写真 (P-4)



⑰登山道上の倒木



⑱登山道上の倒木

曲崎山から八瀬森～関東森を通過する登山道は割と大きな倒木が十数か所あり、障害物競争のように乗り越える箇所多い。  
またところどころに登山道上に笹藪が覆いかぶさっている箇所有り



八瀬森到着 展望無し



八瀬森山荘  
小屋内は整理整頓されていた  
トイレは2Fにあったが未確認



八瀬森山荘すぐ近くにある大場谷地  
湿原だったが湿原内の登山道に木道の設置無し  
ここで昼食



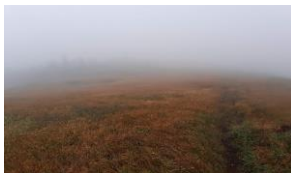
関東森到着 展望無し



1283m付近の湿原に到着  
大場谷地以降八瀬森分岐までの湿原内の登山道には木道設置無し  
この地点辺りから雲行きが怪しくなり、小雨がパラつき始める



⑲1283m湿原を通過し、尾根に出たところでは一部刈払い未了箇所があったが、全体的にはここから八瀬森分岐までは刈払いされていた  
尾根からの景色は全く見えず



八瀬森分岐手前 標高約1420mの箇所にある湿原  
この湿原内の登山道にも踏跡のみで木道設置無し



⑳八瀬森分岐  
雨足が強くなる



小畚山山頂



ニセ小畚(てん標ノ台)山頂



幻想的な三ツ沼



三ツ石山山頂へは寄らず  
紅葉の進み具合遅い様子



三ツ石山荘



奥産道登山口への道標



水場誘導標 水場自体は未確認



林道との交差箇所



滝ノ上温泉三ツ石山登山口に到着